

初期の宗教政策

神道と仏教 政府は、1 神道国教化 を目指す…王政復古政策の祭政一致 神祇官の設置

1868. 2 神仏分離令 (3 神仏判然令) … 4 神仏習合 (神と仏の混在) の否定

1870. 5 大教宣布 の詔 矢野玄道・福羽美静ら国学者の登用

→全国で 6 廃仏毀釈 運動が沸こる <例>寺院・仏像の破壊、寺領の没収など

→国教化は断念→7 国家神道の成立…国家による神社制度の整備・保護 ただし布教活動をせず祭祀のみ

☆ 8 教派 神道 が分離して活動 <例> 9 大本教 (1892. 出口なお開教 出口おに三郎が教主)

10 黒住教、11 天理教 など…江戸時代末から

キリスト教 維新後も禁止・迫害 <例> 12 浦上信徒弾圧事件 [長崎：1867～73]

↓ … 信仰を公にした3400人の隠れキリシタンを流罪に

諸外国から抗議(条約改正に支障)→13 キリシタン禁制の高札を撤去 [1873]

宣教師来日 <例> 14 ヘボン (米)…ローマ字(ヘボン式)を考案

15 ジェーンズ (米)…熊本洋学校教頭 生徒が「熊本バンド」結成

→16 内村鑑三、17 新渡戸稲造、植村正久、浮田和民、海老名弾正ら

西洋文化の流入

※ 18 文明開化 の風潮…西洋の文物の移植 旧習の打破 東京・横浜などを中心に

伝統的芸術・芸能の価値の下落 →多くの文化遺産の損失

生活 洋服(軍人・官吏から民間へ)、19 散切頭の流行、20 煉瓦造の家、21 牛鍋の流行、

石油ランプ、22 ガス灯、23 人力車、24 鉄道馬車 など

旧暦(25 太陰太陽曆)から26 太陽曆への改暦…27 1872年12月3日→1873年1月1日

1日24時間制 週7日制 日曜休日など 五節句(端午・七夕など)の廃止

☆農漁村では旧暦を併用 <例>農耕、潮の干満、諸行事

☆祝祭日の制定 <例> 28 紀元節 …神武即位年(紀元前660年)を紀元とする

※即位日(1/1)を太陽曆に換算→1/29→2/11に変更

29 天長節 …天皇の誕生日(11/3)→大正以降は30 明治節

【時代順問題に挑戦】 ※くげオリジナル

I ③明六社が結成された。

II ②神仏分離令が出された。

III ①ええじゃないかが流行した。

思想 31 啓蒙思想(因習や迷信を否定し人間性の尊重を訴える18世紀の西洋思想)の紹介

I. 32 功利主義 …33 イギリス 中心 幸福や利益の追求を肯定する

<例>34 福沢諭吉 [豊前国中津]…『35 西洋事情』『36 学問のすゝめ』『37 文明論之概略』など
38 中村正直[幕臣]…『39 西国立志篇』(英スマイルズ『自助論』の翻訳 西洋史上の300人の伝記)
『40 自由之理』(英J・S・ミルの『自由論』の翻訳)、など

II. 41 天賦人権論 …42 フランス 中心 人間は生まれながらにして自由平等 →自由民権運動

<例>43 中江兆民 [土佐]…『44 民約訳解』(45ルソー(フランス)の『民約論』の翻訳)など
46 植木枝盛 [土佐]…『47 民権自由論』(民衆向け)

III. 48 社会進化論…優勝劣敗に基づく社会の進化を自然法則とし、天賦人権論を否定

<例>49 加藤弘之[但馬国出石]…天賦人権論(『50 真政大意』)から社会進化論(『51 人権新説』)へ

☆52 明六社 …1873年結成 啓蒙思想団体 『53 明六雑誌』を発行 演説会など

54 森有礼 [薩摩](社長。のち第1次伊藤内閣の文部大臣)

55 西荊 [岩見国津和野]…西洋哲学を紹介 『万国公法』(国際法)を翻訳

56 津田真道[美作国津山]…法典編纂に尽力 西村茂樹[下総国佐倉]…国粹主義の先駆者

57 福沢諭吉、58 中村正直、59 加藤弘之、ほか

教育 60 学制 の公布(61 1872年)←1871. 文部省設置

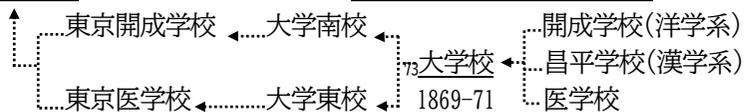
理念: 62 国民皆学…「63 被仰出書 (64 学事奨励に関する被仰出書)」 立身出世の基礎

制度: 65 フランスの学制を導入 画一的 66 8 大学区×3 2 中学区×2 1 0 小学区

問題: 68 建設費・維持費は村の負担 高い授業料 <例>67 開智学校[長野松本]

69 子ども=働き手を取られる →小学校の就学率約3 0 % 70 学制反対一揆

高等教育 71 東京大学設立[1877] ☆多くの 72 お雇い外国人(外国人教師)



74 工部大学校[1877 →東大工学部]、75 師範学校[1872 →筑波大学]、女学校[1872]など

☆私学も <例>76 慶応義塾 [1858](77 福沢諭吉)、78 同志社 [1875](79 新島襄)

初期の宗教政策

神道と仏教 政府は¹_____を目指す…王政復古政策の祭政一致 神祇官の設置

1868. ²_____ (³神仏判然令)…⁴神仏習合(神と仏の混在)の否定

1870. ⁵_____ 矢野玄道^{はるみち}・福羽美静^{ふくびせい}ら国学者の登用

→全国で⁶_____運動が沸こる <例>寺院・仏像の破壊、寺領の没収など

→国教化は断念→⁷国家神道の成立…国家による神社制度の整備・保護 ただし布教活動をせず祭祀のみ

☆⁸_____ **神道**が分離して活動 <例>⁹大本教(1892. 出口なお開教 出口おに三郎が教主)

¹⁰黒住教、¹¹天理教など…江戸時代末から

キリスト教 維新後も禁止・迫害 <例>¹²浦上信徒弾圧事件[長崎：1867～73]

↓ … 信仰を公にした3400人の隠れキリシタンを流罪に

諸外国から抗議(条約改正に支障)→¹³キリシタン禁制の高札を撤去[1873]

宣教師来日 <例>¹⁴ヘボン(米)…ローマ字(ヘボン式)を考案

¹⁵ジェーンズ(米)…熊本洋学校教頭 生徒が「熊本バンド」結成

→¹⁶内村鑑三、¹⁷新渡戸稲造^{にと べいなぞう}、植村正久、浮田和民^{かすたみ}、海老名弾正^{えびなだんじょう}ら

西洋文化の流入

※¹⁸_____の風潮…西洋の文物の移植 旧習の打破 東京・横浜などを中心に

伝統的芸術・芸能の価値の下落 →多くの文化遺産の損失

生活 洋服(軍人・官吏から民間へ)、¹⁹散切頭^{さんきり}の流行、²⁰煉瓦造^{れんがづくり}の家、²¹牛鍋^{ぎゅうなべ}の流行、

石油ランプ、²²ガス灯、²³人力車、²⁴鉄道馬車 など

旧暦(²⁵_____)から²⁶太陽暦への改暦…²⁷1872年12月3日→²⁸1873年1月1日

1日24時間制 週7日制 日曜休日など 五節句(端午・七夕など)の廃止

☆農漁村では旧暦を併用 <例>農耕、潮の干満、諸行事

☆祝祭日の制定 <例>²⁸_____…神武即位年(紀元前660年)を紀元とする

※即位日(1/1)を太陽暦に換算→1/29→2/11に変更

²⁹_____…天皇の誕生日(11/3)→大正以降は³⁰明治節

【時代順問題に挑戦】 ※くげオリジナル

- | |
|-------------------|
| I 明六社が結成された。 |
| II 神仏分離令が出された。 |
| III ええじゃないかが流行した。 |

思想 31 ^{けいもう}啓蒙思想(因習や迷信を否定し人間性の尊重を訴える18世紀の西洋思想)の紹介

I. 32 _____ …33 イギリス中心 幸福や利益の追求を肯定する

<例>34 _____ [豊前国中津]…『35 西洋事情』『36 学問のすゝめ』『37 文明論之概略』など
38 中村正直[幕臣]…『39 西国立志篇』(英スマイルズ『自助論』の翻訳 西洋史上の300人の伝記)
『40 自由之理』(英J・S・ミルの『自由論』の翻訳)、など

II. 41 _____ …42 フランス中心 人間は生まれながらにして自由平等 →自由民権運動

<例>43 _____ [土佐]…『44 民約訳解』(45 ルソー(フランス)の『民約論』の翻訳)など
46 _____ [土佐]…『47 民権自由論』(民衆向け)

III. 48 社会進化論…優勝劣敗に基づく社会の進化を自然法則とし、天賦人権論を否定

<例>49 加藤弘之[但馬国出石]…天賦人権論(『50 真政大意』)から社会進化論(『51 人権新説』)へ

☆52 _____ …1873年結成 啓蒙思想団体 『53 明六雑誌』を発行 演説会など

- 54 _____ [薩摩](社長。のち第1次伊藤内閣の文部大臣)
- 55 _____ [岩見国津和野]…西洋哲学を紹介 『万国公法』(国際法)を翻訳
- 56 津田真道[美作国津山]…法典編纂に尽力 西村茂樹[下総国佐倉]…国粹主義の先駆者
- 57 福沢諭吉、58 中村正直、59 加藤弘之、ほか

教育 60 _____ の公布(61 1872年)←1871. 文部省設置

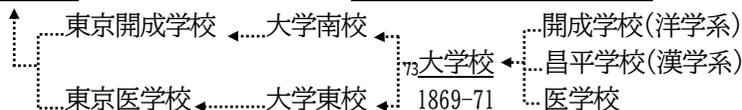
理念: 62 国民皆学…「63 _____ (64 学事奨励に関する被仰出書)」 立身出世の基礎

制度: 65 フランスの学制を導入 画一的 66 8大学区×32中学区×210小学区

問題: 68 建設費・維持費は村の負担 高い授業料 <例>67 開智学校[長野松本]

69 子ども=働き手を取られる →小学校の就学率約30% 70 学制反対一揆

高等教育 71 東京大学設立[1877] ☆多くの 72 お雇い外国人(外国人教師)



74 工部大学校[1877 →東大工学部]、75 師範学校[1872 →筑波大学]、女学校[1872]など

☆私学も <例>76 _____ [1858](77 福沢諭吉)、78 _____ [1875](79 新島襄)